

【樹木の部屋】

ギンヨウアカシア (マメ科アカシア属 *Acacia baileyana*)

和名：ギンヨウアカシア(銀葉アカシア) **別名**：ハナアカシア

英名：Cootamundra wattle

マメ目 常緑高木

原産地：オーストラリア



花言葉：秘密の恋

花色：黄

← 写真-1 ギンヨウアカシア

撮影日：2024年4月8日

撮影場所：大奈良市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 ギンヨウアカシアの花

撮影日：2024年4月8日

撮影場所：大奈良市郊外にて

撮影者：M さん



↓ 写真-3 ギンヨウアカシアの葉

撮影日：2024年4月8日

撮影場所：大奈良市郊外にて

撮影者：M さん



アカシア属は約1000種が、熱帯から温帯にかけて、特にオーストラリア大陸、アフリカ大陸に多数の種が分布しているそうです。日本では、明治時代に輸入されたニセアカシアを当時アカシアと呼んでいたことから現在でも混同使用されているようで、実際に植え

られている樹種もニセアカシアであることが多いそうです。

また、日本では黄色の花を咲かせる仲間をミモザと呼ぶことが多いそうですが、ヨーロッパでミモザと言えば、フサアカシアのことを指すそうです。

ギンヨウアカシア(銀葉アカシア)の樹形は丸みを帯びた外観をしており、通常は高さ約3~5m、稀に最大10mまで成長する事があるそうです。春、枝先に花序ができ、黄色い小花が集まって垂れ下がります。株を覆うほどの黄色い花を咲かせ、よく目立ちます。名前のおり葉色が銀灰色で観賞価値が高く、庭園樹としても人気があるそうです。

葉腋から花穂(総状花序)を出し、総状花序は約8(~30)個の球形の頭状花序をつけます。頭状花序の小花は目立たない花弁が5枚、花弁の色は黄色、萼片が5個、雄蕊が著しく長く突出しているため、ふさふさとした柔らかな外観をつくります。黄色の花は、明るく開放的な印象を与えます。そのため気分が向上する様な爽やかで明るい庭や、様々な花色を組み合わせたカラフルな庭などにおすすめだそうです。

葉は2回羽状複葉で、羽根のように広がり光を通す均一な空間をつくるため、透かし模様が入るレースの編み物の様な繊細な外観をつくります。また、上部の葉の羽片が斜上に傾いており個性的な外観の葉の形をつくります。葉の色は白色を帯びるため、シルバーリーフのような洗練された雰囲気をつくります。

幹は太くなくても柔らかく、枝葉が茂りすぎると重みや風を受けて枝が地面に接するほど大きく曲がることもあります。幹を添え木と支柱でしっかり支えておくと良いそうです。大きく育つため、ある程度生育したら樹形維持のための剪定が必要となります。

花後には平たい豆果ができます。サヤの表面は白い粉を吹いたようになるが、熟すと褐色になります。中には褐色の丸い種子が複数入っており、これを蒔けば実生で増やすことができます。

< ちょっと一言 >

*フサアカシア(マメ科アカシア属 *Acacia dealbata*)

・葉が緑色で長く、小葉の数も多い特徴があります。葉を触るとふさふさとして柔らかい印象です。樹高は10~15mにもなるため、広いスペースが必要になります。ヨーロッパでミモザと言えば、フサアカシアのことを指すそうです。

・葉が夕暮れから夜になると縦に折りたたまれる性質があります。

*ニセアカシア(マメ科ハリエンジュ属 *Robinia pseudoacacia*)

和名 : ニセアカシア **別名** : ハリエンジュ

英名 : Locust tree **花色** : 白